

冬 山 訓 練(オロフレ峠周辺)

令和5年2月18日(土) 参加者27名

CL 澤田

スキーL 西田、SL 山岸、長沼

石井、宇田、内山、武川、笹山、酒井、太田、八重樫、杉田、増川

スノーシューL 小山内、SL 安藤、渡邊

宇佐美、戸島、合澤、笠原、川村、小川、光浪、工藤、及川、小笠原

8:40 オロフレバス停に集合。9:20 オロフレ峠トンネル付近の駐車場でスキー班、スノーシュー班4班に分かれ訓練を始めました。駐車場では準備体操、アバランチトランシーバーの取り扱い方、地図とコンパスで訓練場所の確認、スノーシューを装着(点検)。山に入る。

斜面では上り下りして歩行訓練、雪崩急斜面の歩き方、弱層テスト(コンプレッションテスト)、雪崩の有無・弱層の確認を行いました。雪崩に巻き込まれ埋没者捜索では安全箇所から安全確認・応援要請・捜索・救助の人員配置。トランシーバーによる捜索、コンパニオンレスキュー、救助者の呼吸確認、保温、搬送準備など確認しました。

昼食後、ビバークのための雪洞造り。雪崩で

埋まったと想定してスノーシューのまま埋まり脱出体験。以外と脱出できない。

時間となり訓練途中でしたが後の訓練は次回ということで終了しました。オロフレ峠駐車場に戻り14:00頃、解散。

冬山に安全安心して登るためには、学習と実践訓練を怠らない。いざというときにきっと助けになるでしょう。



記 渡邊